

# AIアプリを使った実験準備

3/9 YPC例会 ワークショップ資料2

## はじめに

近年、教員の多忙化が深刻な課題となっています。特に理科における実験は、準備に多くの時間と手間がかかります。とりわけ燃焼などの危険を伴う実験の場合、若手教員にとって大きな負担となります。その一方で、AI技術が現在急速に発展しています。既に社会の様々な分野で利用が始まっており、教育分野での活用についての議論が始まっています。

そこで本ワークショップでは、実験準備を支援するAIアプリを実際に試していただき、先生方にAIの可能性を体感していただきます。これにより、物理教育や理科教育におけるAIの活用をさらに発展させるためのアイデアが出てくる機会となれば幸いです。

## タイムテーブル (45分)

- 導入 (15分): AIツールの概要説明
- 体験 (15分): 4人班を組み、3つの試作アプリの操作体験
- アイデア出し (15分): グループディスカッションとフィードバック

## 3つの試作アプリ紹介

### 1. 実施実験ていあんくん

アクセス方法：<https://bit.ly/43rfF2F>



小単元・使用可能な実験器具リスト・準備にかけられる時間・教員の経験熟練度から実施に適している実験をいくつか提案します。

## 2. 安全対策ていあんくん

アクセス方法：<https://bit.ly/43tnoNI>



実験内容から予備実験のための安全対策リストを提案します。

## 3. 安全指導ていあんくん

アクセス方法：<https://bit.ly/4bvMY6F>



実験内容から安全指導のためのチェックリストを提案します。

## グループワーク課題

4人グループに分かれ、以下の課題について議論してください：

1. 体験したアプリの中で最も現場で役立つと感じたものはどれですか？その理由は？
2. 各アプリの改善点や追加してほしい機能はありますか？
3. 実際の授業でこれらのアプリをどのように活用するイメージがありますか？
4. 他にどのようなAIアプリがあれば物理実験授業に役立つと思いますか？

## フィードバックについて

全体で共有できなかったフィードバックは、配布したアンケート用紙もしくは以下のGoogleフォームにご記入下さい。今後のアプリ改良に活用させていただきます。また、アプリ改良にご協力いただける先生は、お手数ですがその旨ご記入ください。

アクセス方法：<https://forms.gle/uUmKExSAS2xbaoB5A>

